

あとがき

不老川流域川づくり市民の会では、狭山市に残る貴重な遺跡「こかわ」を訪ねて、その現状を調査しました。

今では、所々で土砂に埋もれ忘れ去られようとしているこかわですが、昭和二十年代までは一年中きれいな水が流れ、野菜や食器を洗ったり、子供たちが魚とりなどをして遊んでいたそうです。水の乏しいこの地域で、安土桃山時代から多くの先人たちによって造られ、以来ずっと守られてきたこの用水に、新たな可能性を見つけようとの思いで、今後の活動の参考資料としてこの小冊子にまとめました。



人間公民館での展示の様子

編集に当たって御協力くださった地域の皆様、ならびに関係者の方々に心から感謝申し上げます。

なお、狭山市人間公民館を手始めに写真展「こかわを訪ねて」を市内各公民館で順次開催していきます。

不老川流域川づくり市民の会

こかわプロジェクトチーム

こかわを訪ねて

「入曾用水」

二〇〇二年 十月二十五日 発行

発行者 不老川流域川づくり市民の会

代表 相馬 和彦

〒三五八〇〇二一

埼玉県入間市東藤沢八 三〇 二九

□〇四二 九六五 一七四一

編集 不老川流域川づくり市民の会

こかわプロジェクトチーム

小川 泰男

権田 則子

田上 はるか

中田 寛

米倉 洋子

連絡先

中田 寛

〒三五〇一三二五

狭山市北入曾八七七 十九

□〇四二 九五七 五七三八